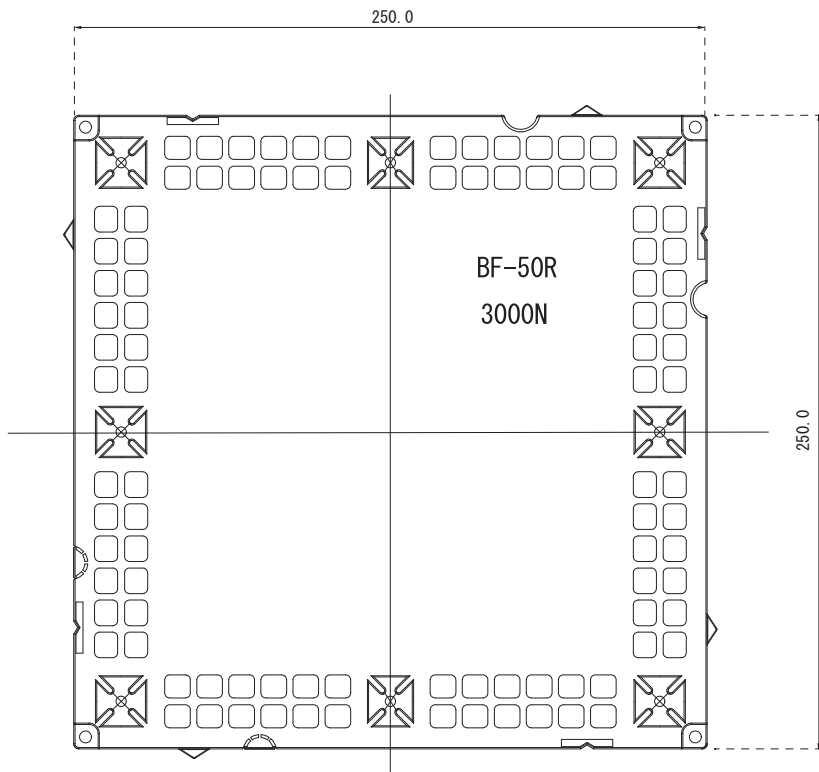
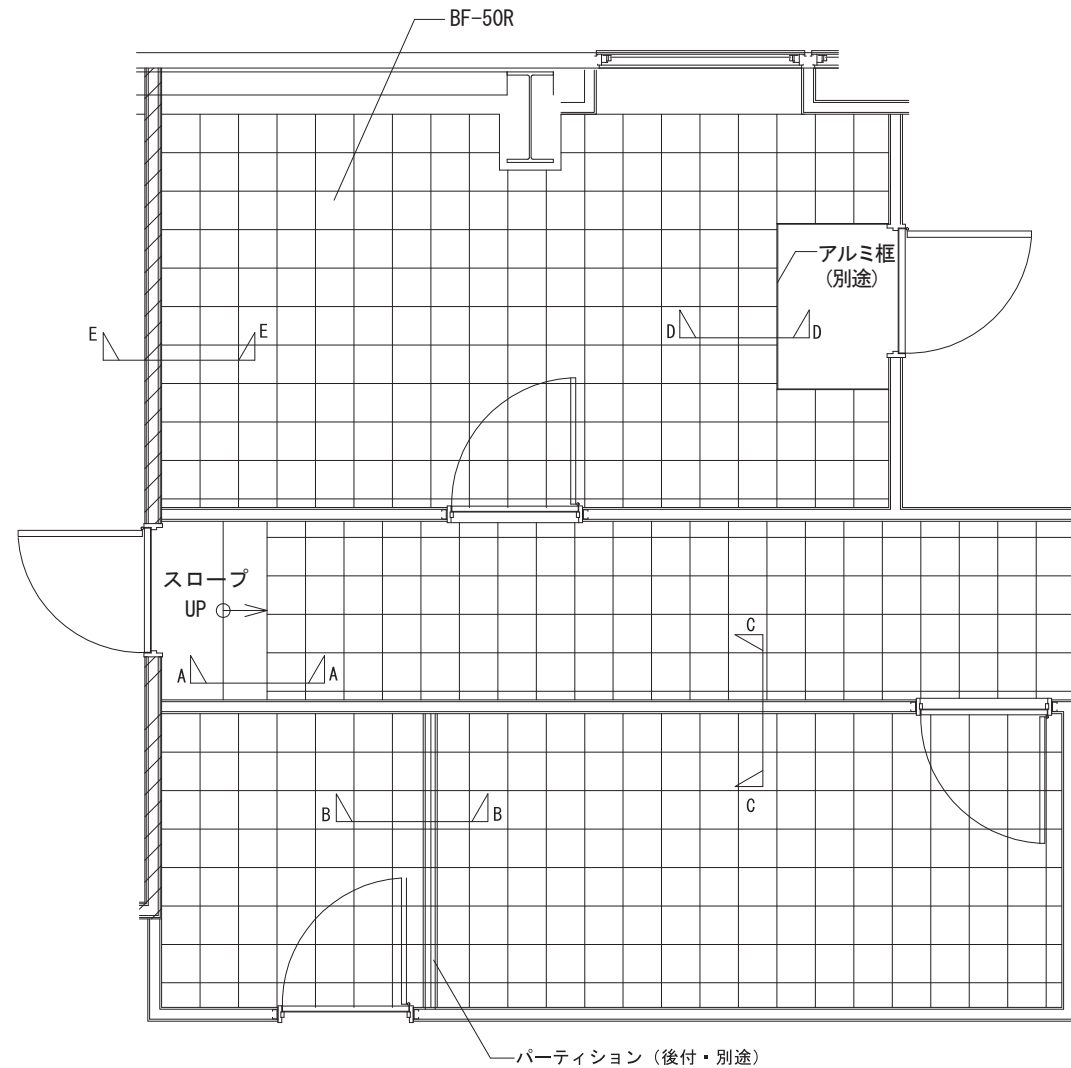
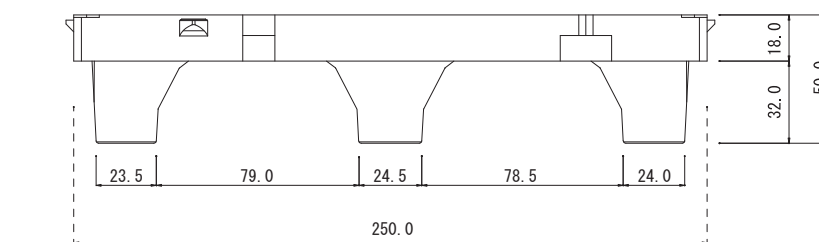
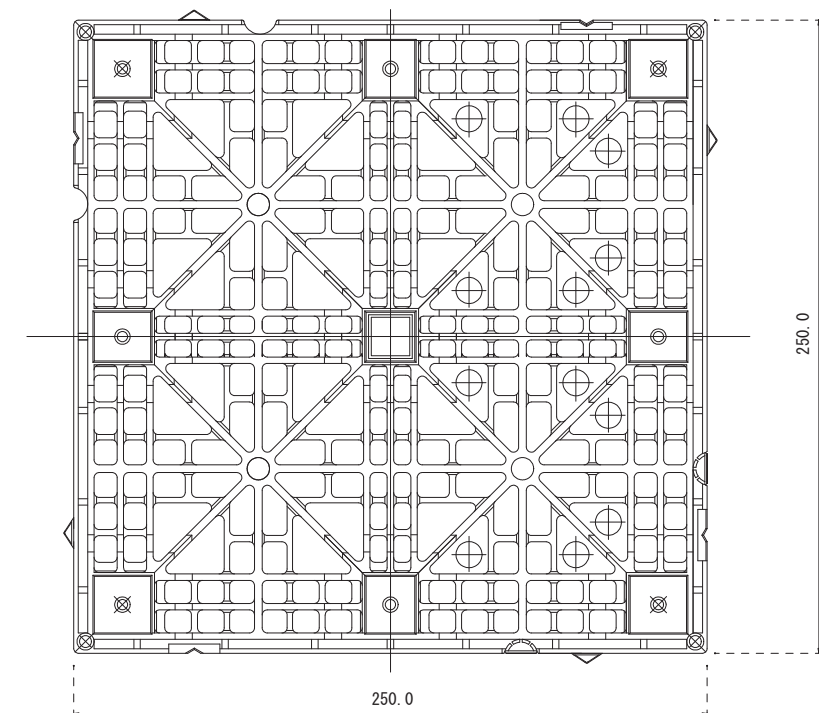
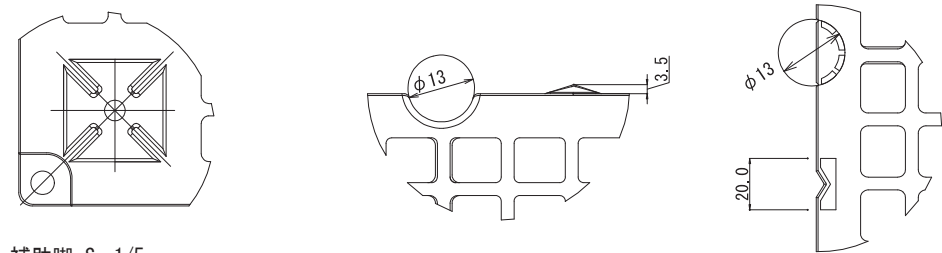




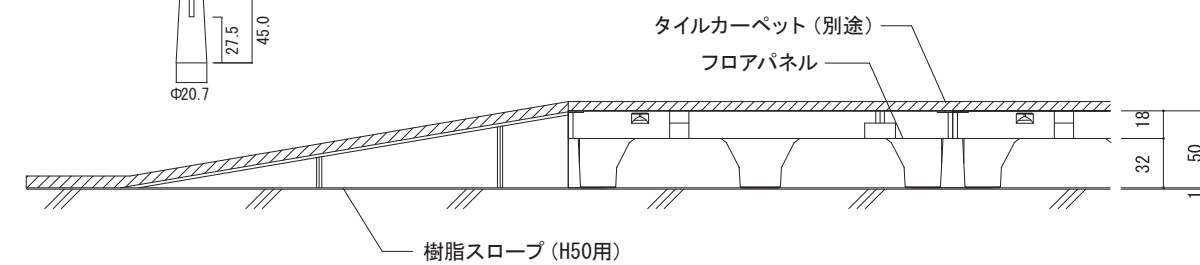
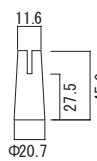
BF-50R 平面図 S=1/3



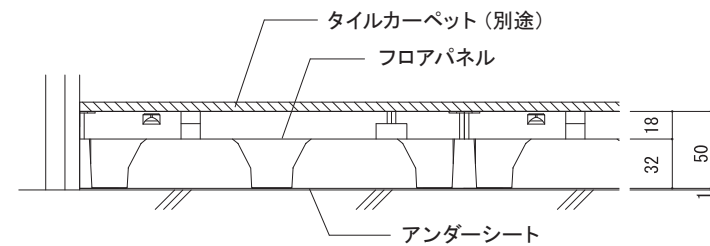
平面図（割付例） S=1/50



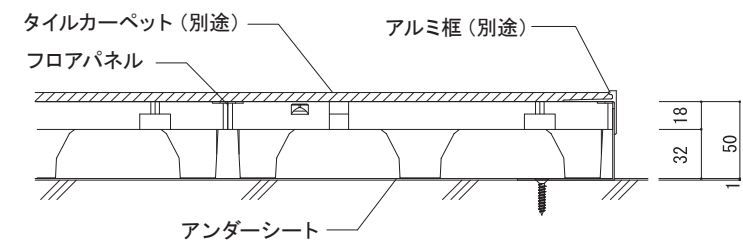
補助脚 S=1/5



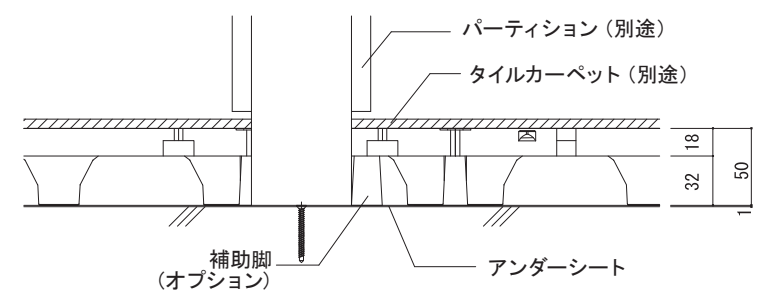
A-A断面図 S=1/5



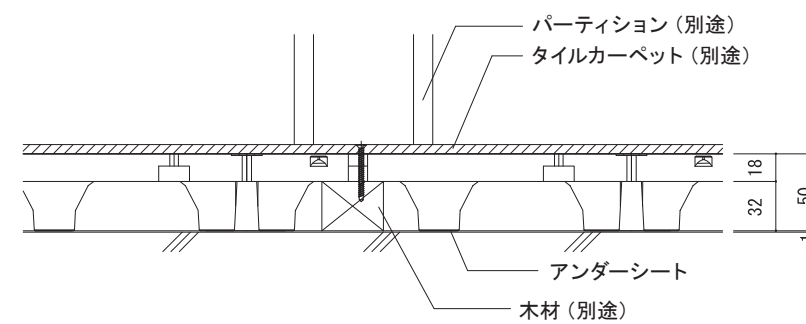
E-E断面図 S=1/5



D-D断面図 S=1/5



C-C断面図 S=1/5



B-B断面図 S=1/5

STEPLINE

ステップライン株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-10 青木ビル6F

品名・形式：
樹脂製OAフロア
置敷きタイプ
BF-50R

図面名称：
平面図、断面納まり図

縮尺：

サイズ：
A3

作成日：
R6.10.08

備考：

仕様：本体パネル
タイプ：W250XD250XH50
耐荷重性能：3000N

副資材：
アンダーシート
専用補助脚
連結ジョイント

材質:再生ポリプロピレン
サイズ：W247XD247XH50
重量:約7.7kg/㎡

オプション副資材：
樹脂スロープ (H50用) スペースボーダー
グレーチング アルミ框

仕上げ材：
ビニルタイル (オプション)
タイルカーペット (オプション)



発行番号：第17A2535号
発行日：平成29年10月30日

品質性能試験報告書

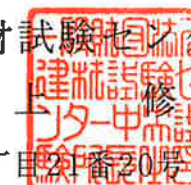
依頼者 ステップライン株式会社

東京都港区虎ノ門3-11-9 シュミット虎ノ門ビル

試験名称 フリーアクセスフロアの静荷重試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 川 修
埼玉県草加市稲荷5丁目 電話 201-2011



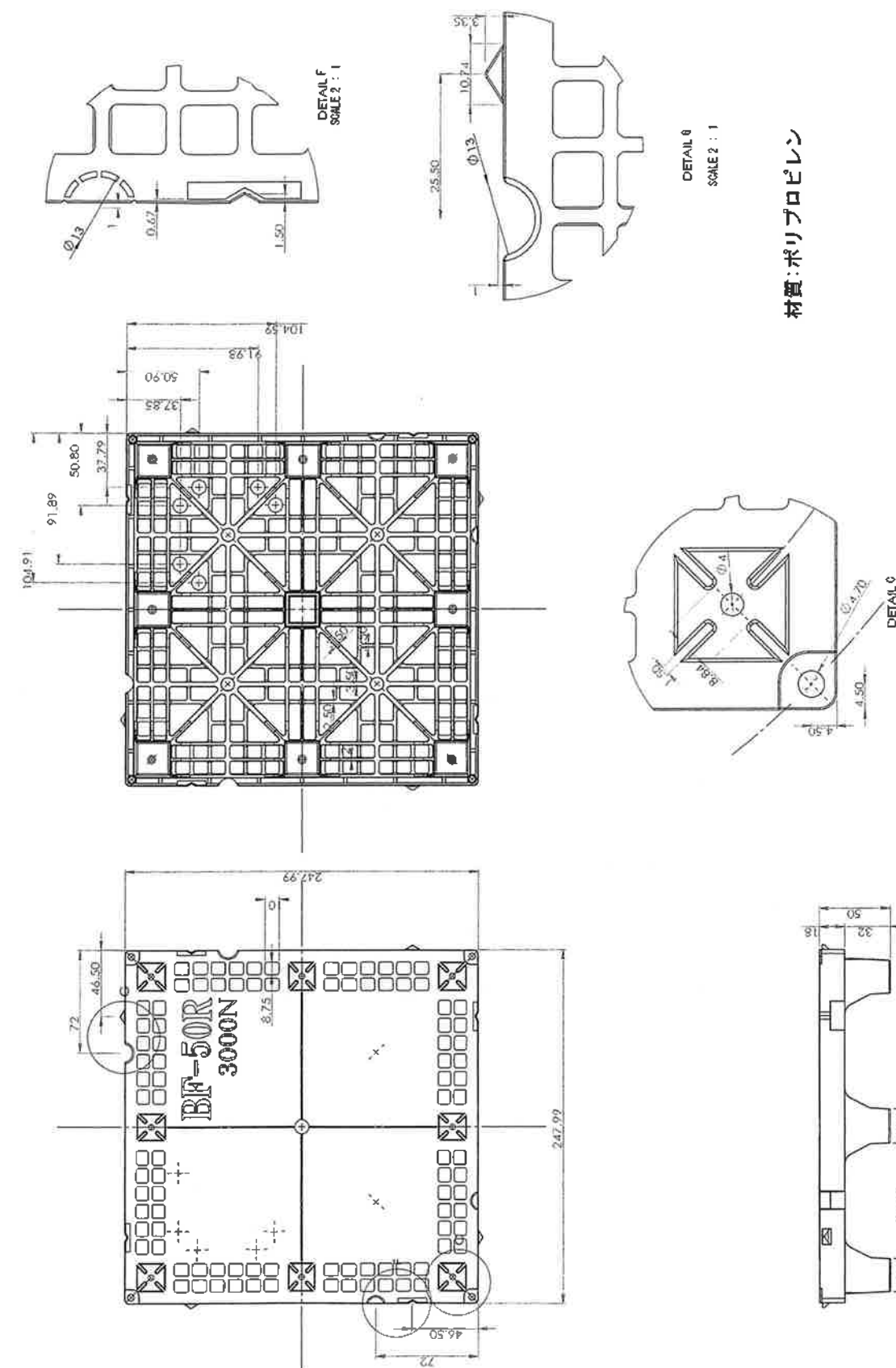
品質性能試験報告書

試験名称	フリーアクセスフロアの静荷重試験				
依頼者	ステップライン株式会社				
試験体 (依頼者 提出資料)	試験体記号	BF-50R			
	種類	置敷式パネル構法, 支柱一体型			
	ユニット の高さ	50 mm			
	構成材	パネル: 247.99 mm×247.99 mm×50 mm (材質 ポリプロピレン) シート: 高発泡ポリエチレンシート (ラミネート加工), 厚さ1 mm			
	数量	3体			
	参 照: 図 1 (試験体)				
試験方法	JIS A 1450 (フリーアクセスフロア試験方法) 6.2 静荷重試験に従って行った。 所定荷重: 3000 N 参 照: 図2 (載荷点位置) 及び写真1 (試験実施状況)				
	試験装置	200 kN自動コントロール式加力試験機 (ロードセル容量: ±20 kN) 門型フレーム			
	測定装置	電気式変位計 (容量: 50 mm, 感度: 200×10 ⁻⁶ /mm, 非直線性: 0.1 %RO)			
試験結果	試験体記号	番号	3000 N時の変位 (mm)	除荷後の残留変形 (mm)	除荷後の試験体状況
	BF-50R	1	3.0	0.7	異状なし
		2	3.1	0.7	異状なし
		3	3.5	0.9	異状なし
	参 照: 図3 (荷重－変位曲線) 写真2～写真4 (除荷後の試験体状況)				
試験期間	平成28年10月 6日				
担当者	構造グループ	統括リーダー 統括リーダー代理 主任	室 星 啓 和 守 屋 嘉 晃 小 山 博 由 (主担当) 菱 沼 匠		
試験場所	中央試験所				

(依頼者提出資料)
試験体記号：BF-50R

図1 試験体

単位 mm



単位 mm

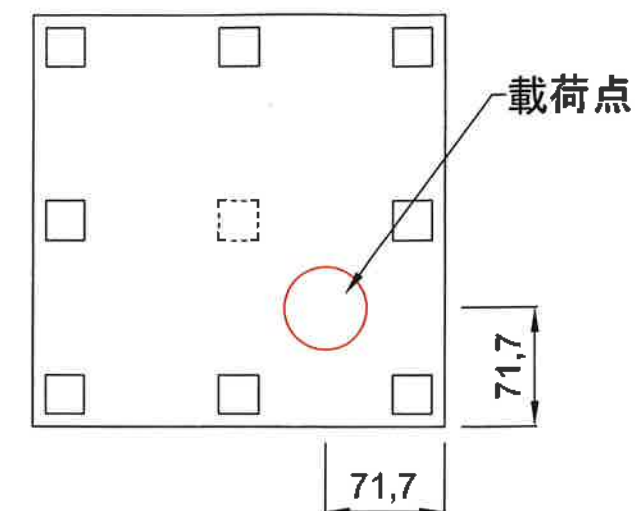
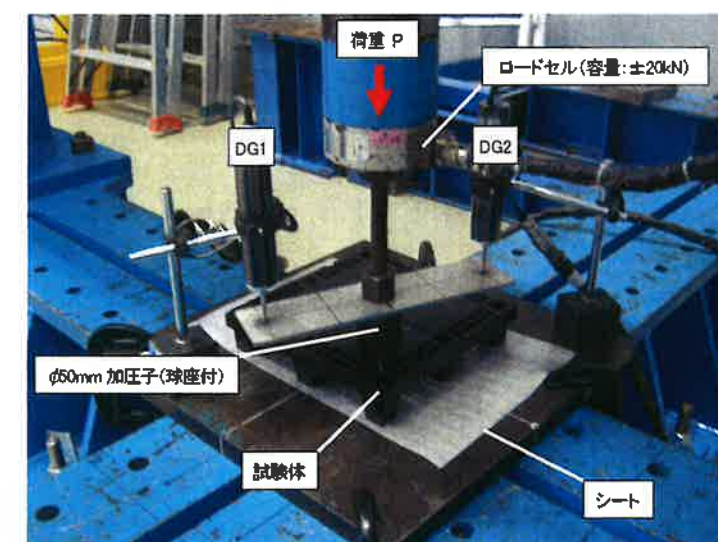


図2 载荷点位置



DG1 及び DG2：電気式変位計
 载荷点の上下方向変位

$$\text{変位} = (DG1 + DG2) / 2$$
 (変位の符号は鉛直下向きを正とした。)

写真1 試験実施状況

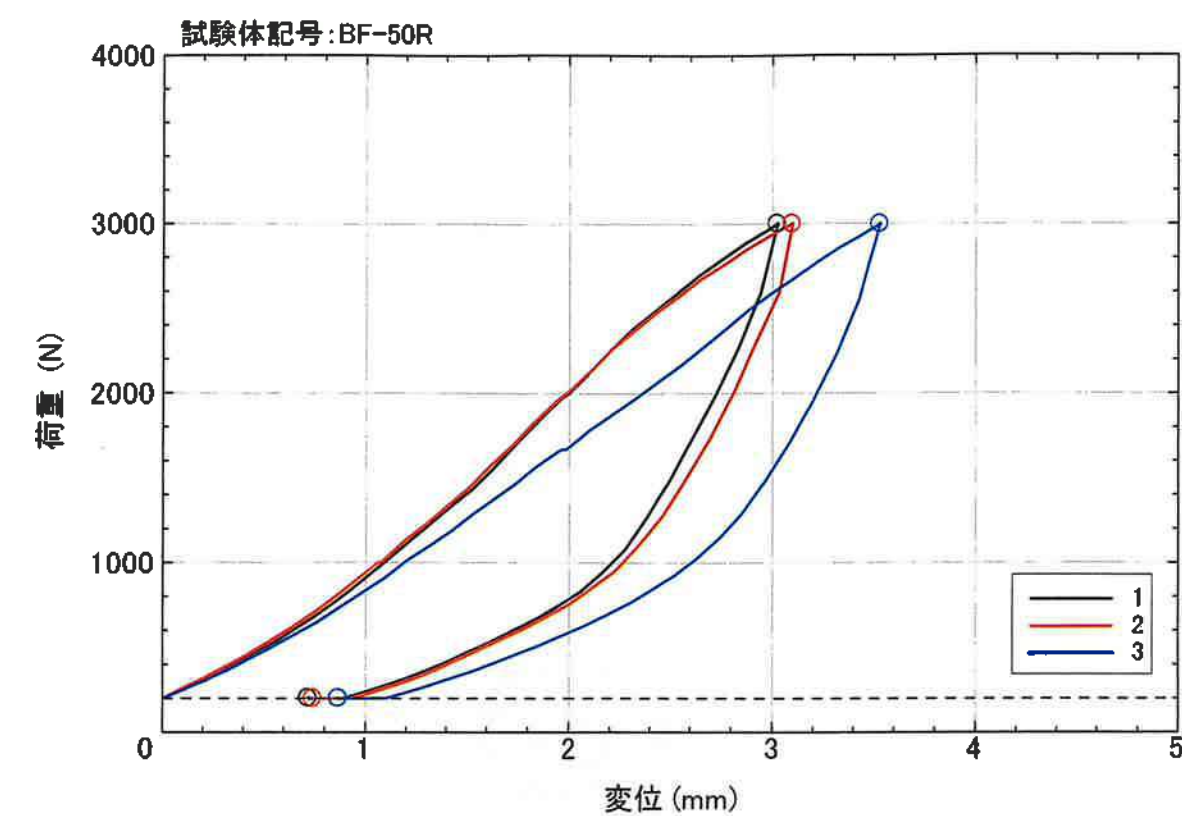


図3 荷重-変位曲線

試験体記号：BF-50R

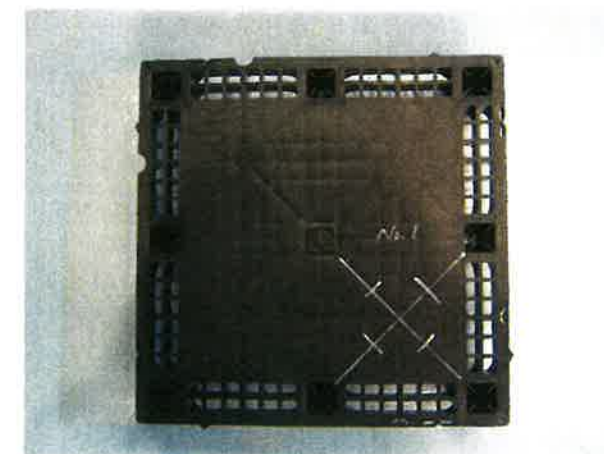


写真2 除荷後の試験体状況
番号：1
・異状なし



写真3 除荷後の試験体状況
番号：2
・異状なし

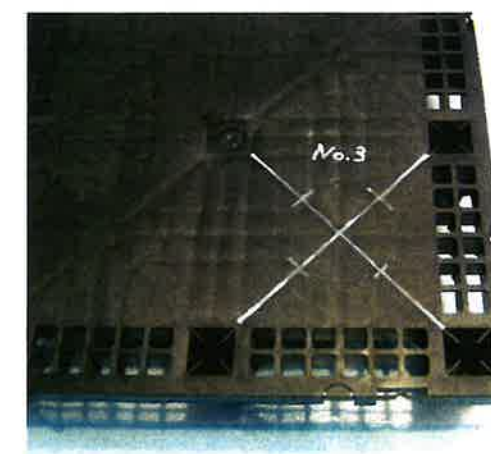


写真4 除荷後の試験体状況
番号：3
・異状なし

以下余白

ステップライン株式会社 殿

フリーアクセスフロアの
諸性能試験に関わる報告書

2020年 9月 30日
ものづくり大学技能工芸学部
建設学科 高橋研究室



〒361-0038

埼玉県行田市前谷333

tel. & fax. 048(564)3867

JIS A 1450(2015)試験報告書 目 次

試験体数 4種

・BFW3000

仕様 支柱調整式フリーアクセスフロア 3000N用

試験体の仕上がり高さ 106.5mm

・BFH40

仕様 置敷式フリーアクセスフロア 4000N用

試験体の仕上がり高さ 47.5mm

・BFH50

仕様 置敷式フリーアクセスフロア 4000N用

試験体の仕上がり高さ 57.5mm

・BF50R

仕様 置敷式フリーアクセスフロア 3000N用

試験体の仕上がり高さ 57.5mm

試験項目 2種

・衝撃試験(1ユニット, 4ユニット)

・燃焼試験(1ユニット)

報 告

		ページ
1. BFW3000		
1. 1. 衝撃試験(1ユニット)	-----	1
1. 2. 衝撃試験状況	-----	2
1. 3. 燃焼試験(1ユニット)	-----	3
1. 4. 試験体図	-----	4
2. BFH40		
2. 1. 衝撃試験(4ユニット)	-----	5
2. 2. 衝撃試験状況	-----	6
2. 3. 試験体図	-----	7
3. BFH50		
3. 1. 衝撃試験(4ユニット)	-----	8
3. 2. 衝撃試験状況	-----	9
3. 3. 試験体図	-----	10
4. BF50R		
4. 1. 衝撃試験(4ユニット)	-----	11
4. 2. 衝撃試験状況	-----	12
4. 3. 試験体図	-----	13

1. 1. 衝撃試験(1ユニット)報告書 BFW3000

JIS A 1450による衝撃試験の結果を報告する。

試験日 2020年 8月 7日

場 所 ものつくり大学

方 法 JIS A 1450による衝撃重試
1)試験体を試験用フレームにセットし、200Nのおもりを載せ変位を零点にする。
2)おもりを取り除き、30kgの砂袋を25cmから落下させる。
3)200Nのおもりを戻して残留変位を測定する。
・加撃点は最弱部とする。
・おもりの底面の直径は70mmとする。
・砂袋はも揉みほぐしたものとする。

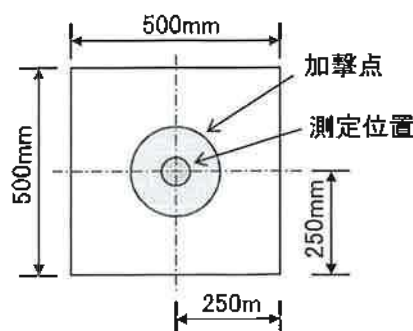
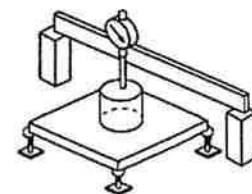
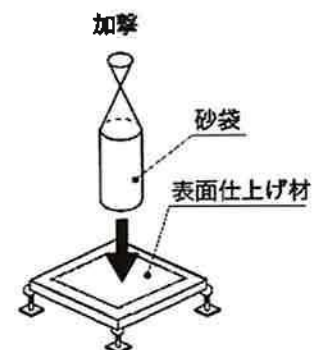
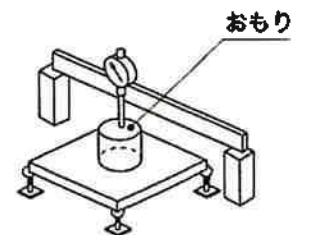
設 定 1)試験体の名称 BFW3000
2)試験体の仕上がり高さ 106.5mm
3)試験体の設置 1ユニット
4)試験体の固定 支柱をコンクリート板に接着
5)加撃点 試験体中央(下図参照)
6)表面仕上げ材名 タイルカーペット(厚6.5mm)

評 価 ・残留変形量:3.0mm以下とする
・目視による損傷の有無:ないこと

結 果

試験体	ユニットの高さ※ (mm)	残留変形 (mm)	損傷の有無
1	103.0	0.44	損傷無し
2	100.0	0.36	損傷無し
3	100.0	0.31	損傷無し

※ユニット高さは表面仕上げ材を含まない高さ



BFW3000の加撃点

1. 2. 衝撃試験状況 BFW3000



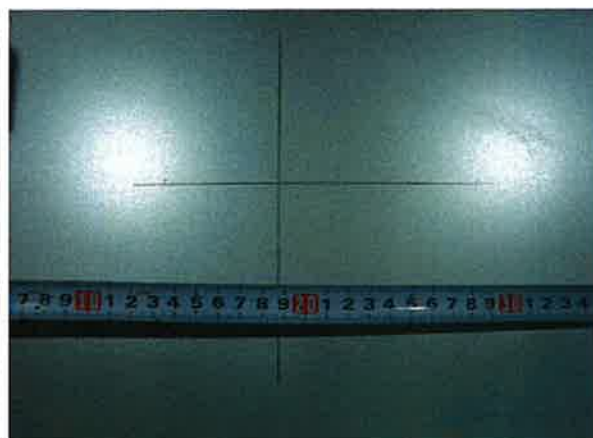
試験状況, 仕上材なし(試験体2)



試験状況, 仕上材なし(試験体2)



試験状況, 仕上材あり(試験体2)



試験後の状況, 仕上材なし(試験体2)

以 上

1. 3. 燃焼試験(1ユニット)報告書 BFW3000

JIS A 1450による燃焼試験の結果を報告する。

日 時 2020年 8月 17日

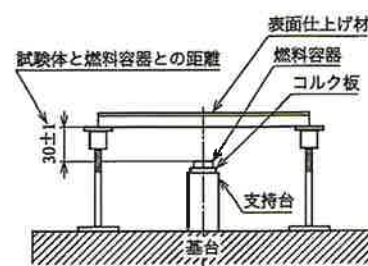
場 所 ものつくり大学

方 法 JIS A 1450による燃焼試験

- 1) 試験体の中央下部30mmに燃料カップを置く。
- 2) 燃料に着火して燃料が燃え尽きてからの残炎時間を測定する。
 - ・表面材を敷設して観察する。
 - ・試験体に着火しない場合は残炎時間0秒とする。
 - ・残炎時間の測定は60秒までとし、60秒を超えるものは「60秒以上」とする。

設 定

1)試験体の名称	BFW3000
2)試験体の仕上がり高さ	106.5mm
3)試験体の設置	1ユニット
4)燃焼位置	試験体中央



結 果	残炎時間(秒)	表面仕上げ材名	観 察
	0	タイルカーペット(厚6.5mm)	損傷なし



試験体設置状況



試験状況



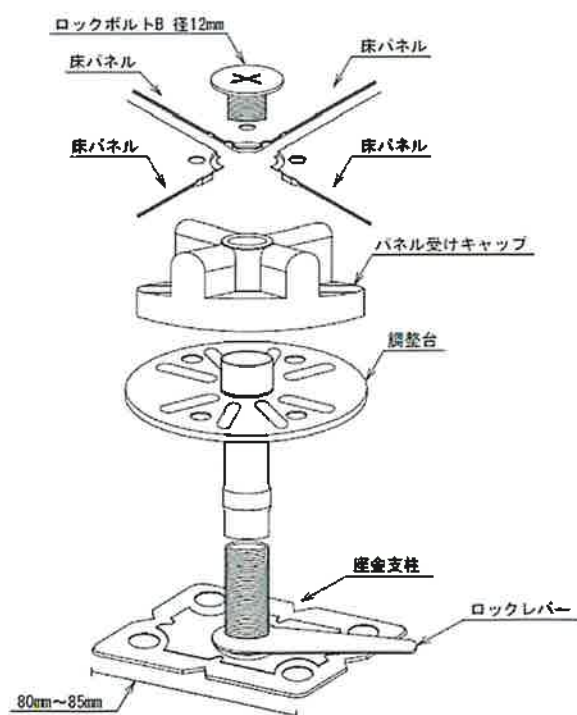
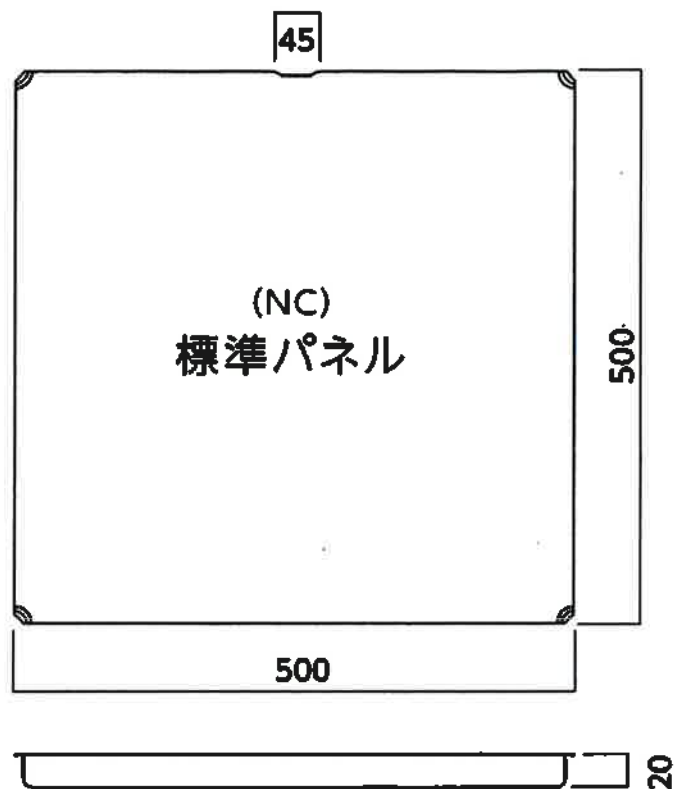
試験後の試験体背面の状況



試験後の試験体背面の状況

以 上

1. 4. 試験体図 BFW3000



以 上

2. 1. 衝撃試験(4ユニット)報告書 BFH40

JIS A 1450による衝撃試験の結果を報告する。

試験日 2020年 8月 17日

場 所 ものつくり大学

方 法 JIS A 1450による衝撃重試

- 1) 試験体を試験用フレームにセットし、200Nのおもりを載せ変位を零点にする。
- 2) おもりを取り除き、30kgの砂袋を25cmから落下させる。
- 3) 200Nのおもりを戻して残留変位を測定する。
- ・加撃点は最弱部とする。
- ・おもりの底面の直径は70mmとする。
- ・砂袋はも揉みほぐしたものとする。

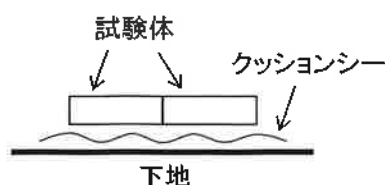
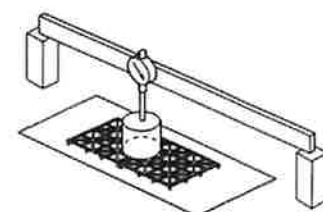
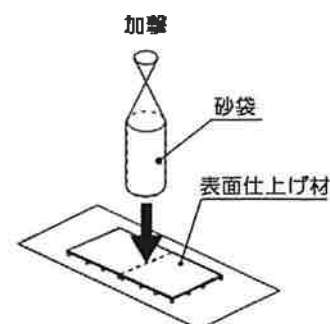
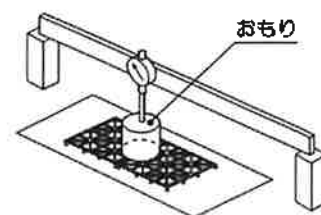
- 設 定
- 1) 試験体の名称 BFH40
 - 2) 試験体の仕上がり高さ 47.5mm
 - 3) 試験体の設置 4ユニット。クッションシート(厚1mm)の上に試験体を設置(下図参照)。加撃時の試験体の横ずれ防止のために周囲に木製の枠を設置(次頁写真参照)。置き敷き(接着等による固定無し)
 - 4) 試験体の固定
 - 5) 加撃点 1ユニットの4つの支持脚で囲まれた範囲の中央(下図参照)。
 - 6) 表面仕上げ材名 タイルカーペット(厚6.5mm)

- 評 価
- ・残留変形量: 3.0mm以下とする
 - ・目視による損傷の有無: ないこと

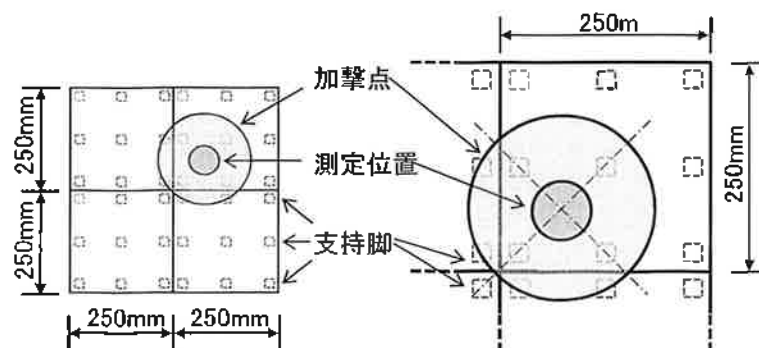
結 果

試験体	ユニットの高さ※ (mm)	残留変形 (mm)	損傷の有無
1	40.0	0.11	損傷無し
2	40.0	0.05	損傷無し
3	40.0	0.09	損傷無し

※ユニット高さは表面仕上げ材およびクッションシートを含まない高さ



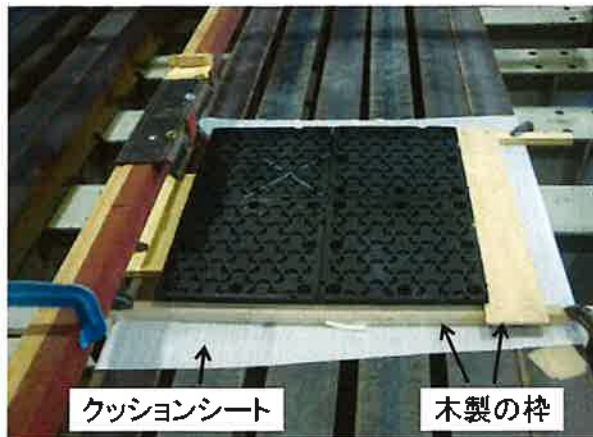
試験体とクッションシートの位置



BFH40の加撃点

2. 2. 衝撃試験状況

BFH40



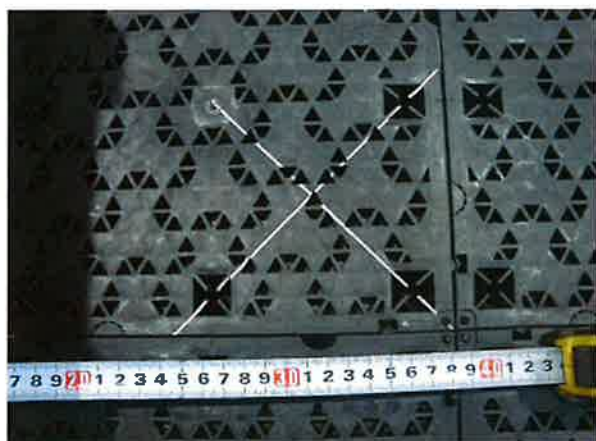
試験状況, 仕上材なし(試験体1)



試験状況, 仕上材なし(試験体1)



試験状況, 仕上材あり(試験体1)



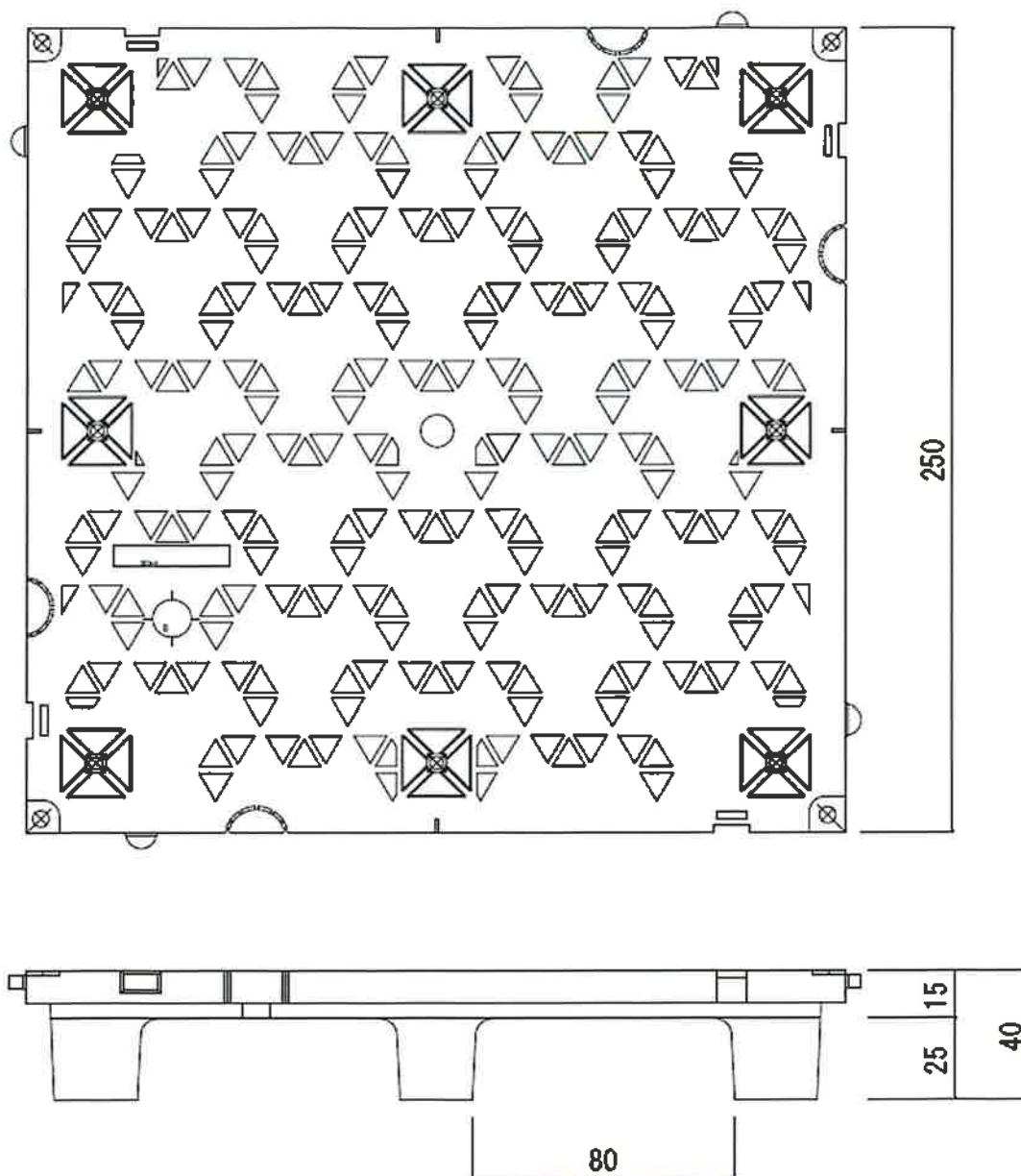
試験後の状況, 仕上材なし(試験体1)



試験に使用したクッションシートと木製の枠

以 上

2. 3. 試験体図 BFH40



以 上

3. 1. 衝撃試験(4ユニット)報告書 BFH50

JIS A 1450による衝撃試験の結果を報告する。

試験日 2020年 8月 17日

場 所 ものつくり大学

方 法 JIS A 1450による衝撃重試

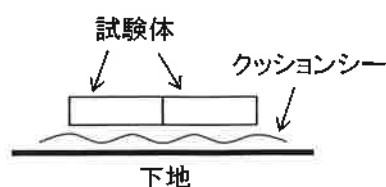
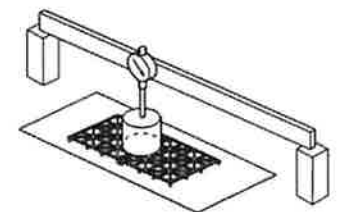
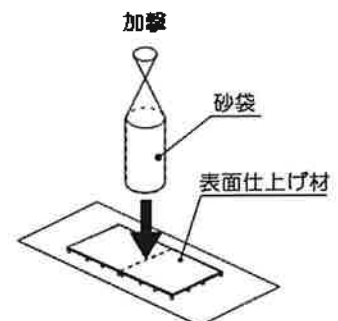
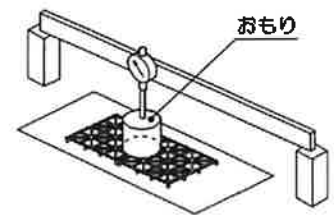
- 1)試験体を試験用フレームにセットし、200Nのおもりを載せ変位を零点にする。
 - 2)おもりを取り除き、30kgの砂袋を25cmから落下させる。
 - 3)200Nのおもりを戻して残留変位を測定する。
- ・加撃点は最弱部とする。
 - ・おもりの底面の直径は70mmとする。
 - ・砂袋はも揉みほぐしたものとする。

- 設 定
- 1)試験体の名称 BFH50
 - 2)試験体の仕上がり高さ 57.5mm
 - 3)試験体の設置 4ユニット。クッションシート(厚1mm)の上に試験体を設置(下図参照)。加撃時の試験体の横ずれ防止のために周囲に木製の枠を設置(次頁写真参照)。置き敷き(接着等による固定無し)
 - 4)試験体の固定
 - 5)加撃点 1ユニットの4つの支持脚で囲まれた範囲の中央(下図参照)。
 - 6)表面仕上げ材名 タイルカーペット(厚6.5mm)

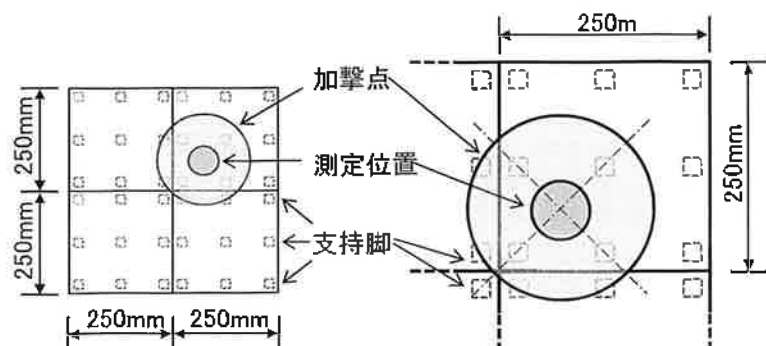
- 評 価
- ・残留変形量:3.0mm以下とする
 - ・目視による損傷の有無:ないこと

結 果	試験体	ユニットの高さ※ (mm)	残留変形 (mm)	損傷の有無
	1	50.0	0.00	損傷無し
	2	50.0	0.08	損傷無し
	3	50.0	0.03	損傷無し

※ユニット高さは表面仕上げ材およびクッションシートを含まない高さ



試験体とクッションシートの位置



BFH50の加撃点

3. 2. 衝撃試験状況

BFH50



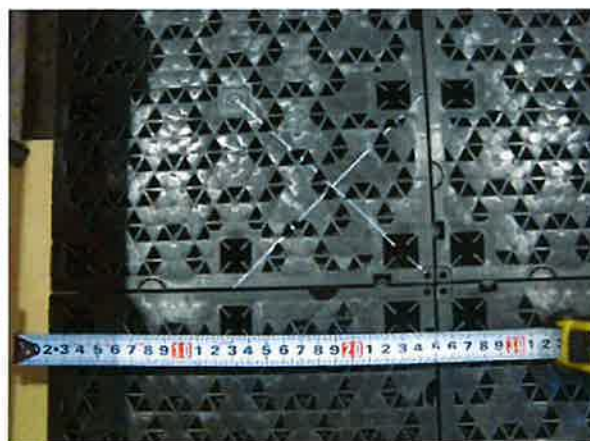
試験状況, 仕上材なし(試験体2)



試験状況, 仕上材なし(試験体2)



試験状況, 仕上材あり(試験体2)



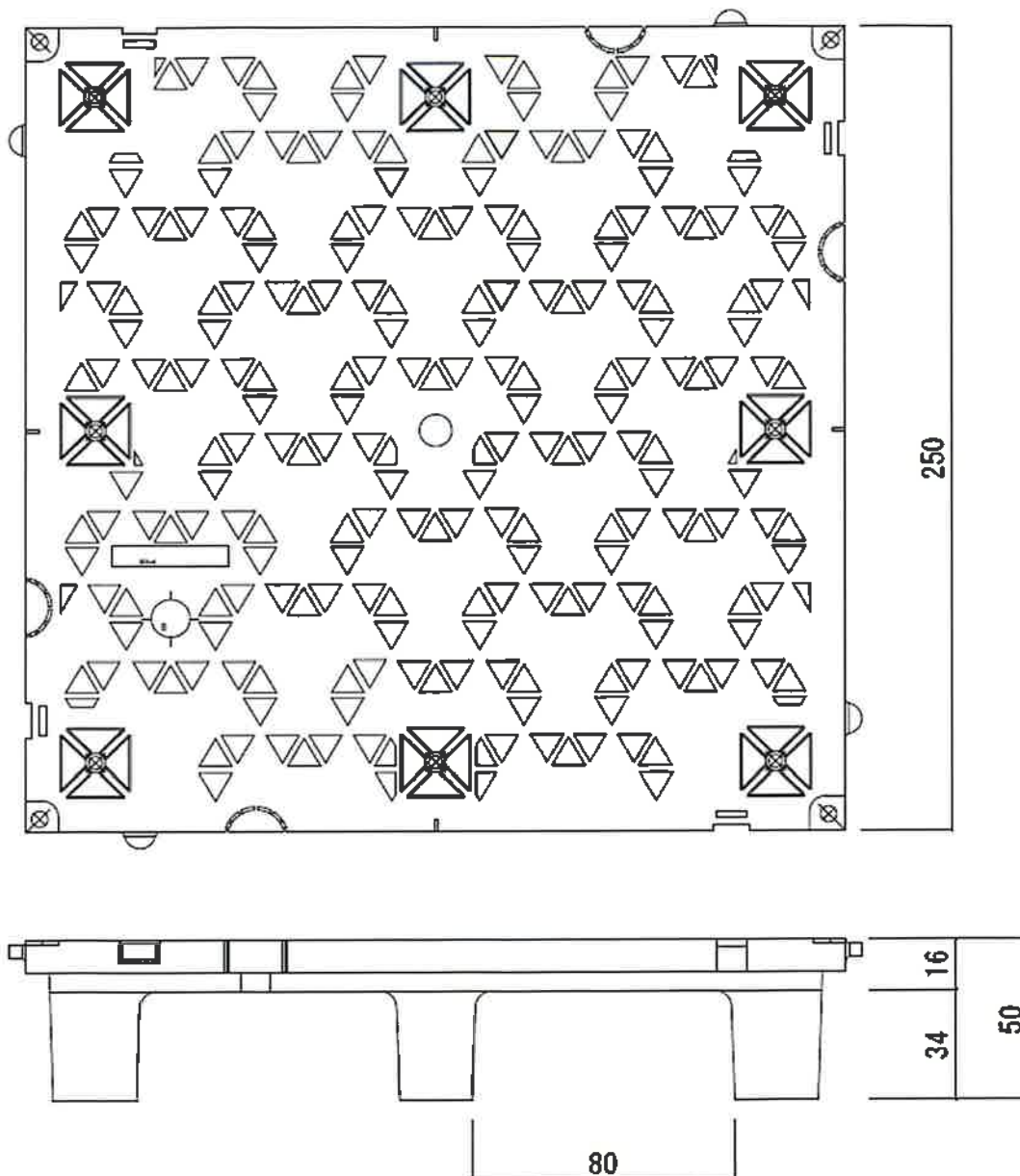
試験後の状況, 仕上材なし(試験体2)



試験に使用したクッションシートと木製の枠

以 上

3. 3. 試験体図 BFH50



以 上

4. 1. 衝撃試験(4ユニット)報告書 BF50R

JIS A 1450による衝撃試験の結果を報告する。

試験日 2020年 9月 16日

場 所 ものつくり大学

方 法 JIS A 1450による衝撃重試
1)試験体を試験用フレームにセットし、200Nのおもりを載せ変位を零点にする。
2)おもりを取り除き、30kgの砂袋を25cmから落下させる。
3)200Nのおもりを戻して残留変位を測定する。
・加撃点是最弱部とする。
・おもりの底面の直径は70mmとする。
・砂袋はも揉みほぐしたものとする。

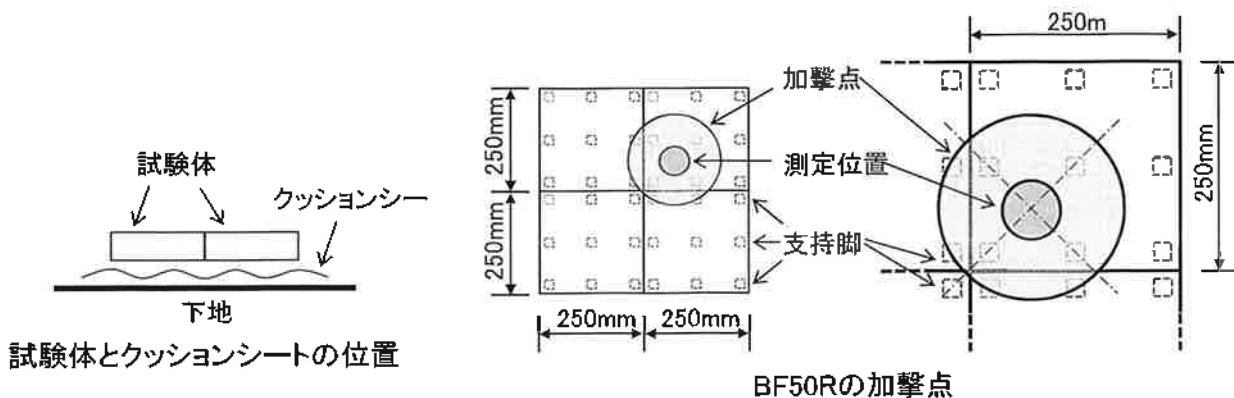
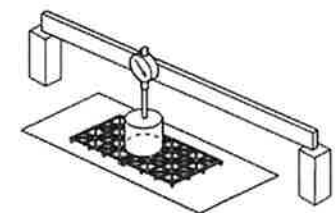
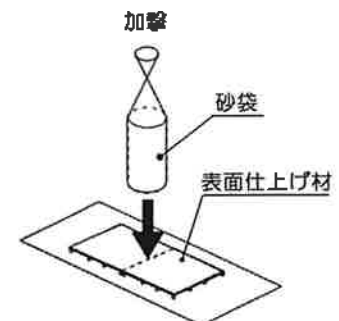
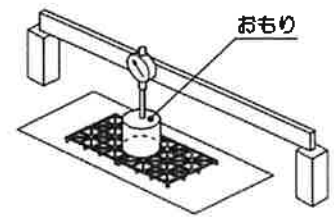
設 定 1)試験体の名称 BF50R
2)試験体の仕上がり高さ 57.5mm
3)試験体の設置 4ユニット。クッションシート(厚1mm)の上に試験体を設置(下図参照)。加撃時の試験体の横ずれ防止のために周囲に木製の枠を設置(次頁写真参照)。置き敷き(接着等による固定無し)
4)試験体の固定
5)加撃点 1ユニットの4つの支持脚で囲まれた範囲の中央(下図参照)。
6)表面仕上げ材名 タイルカーペット(厚6.5mm)

評 価 ・残留変形量:3.0mm以下とする
・目視による損傷の有無:ないこと

結 果

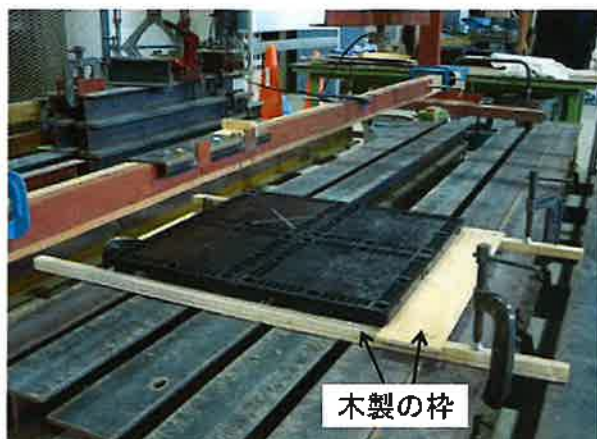
試験体	ユニットの高さ* (mm)	残留変形 (mm)	損傷の有無
1	50.0	0.18	損傷無し
2	50.0	0.09	損傷無し
3	50.0	0.07	損傷無し

※ユニット高さは表面仕上げ材およびクッションシートを含まない高さ



4. 2. 衝撃試験状況

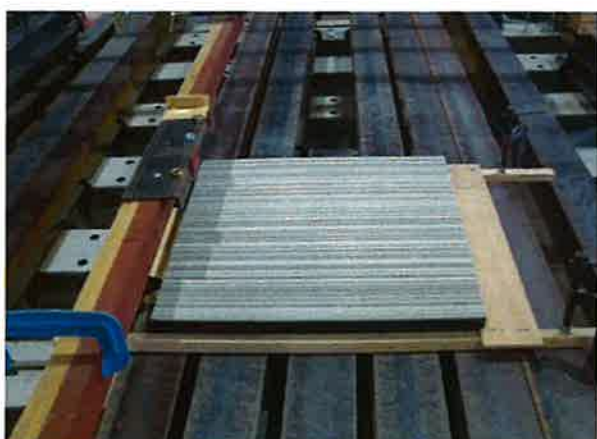
BF50R



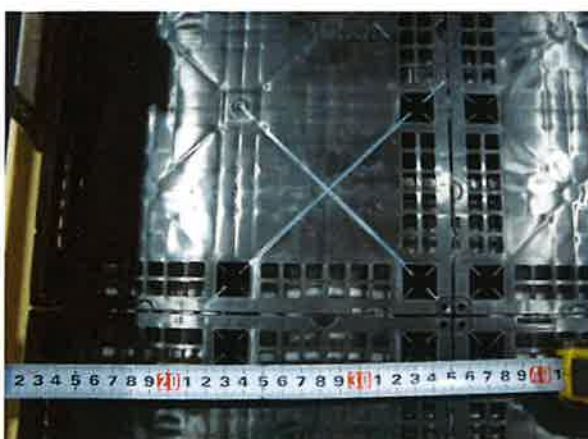
試験状況, 仕上材なし(試験体2)



試験状況, 仕上材なし(試験体2)



試験状況, 仕上材あり(試験体2)



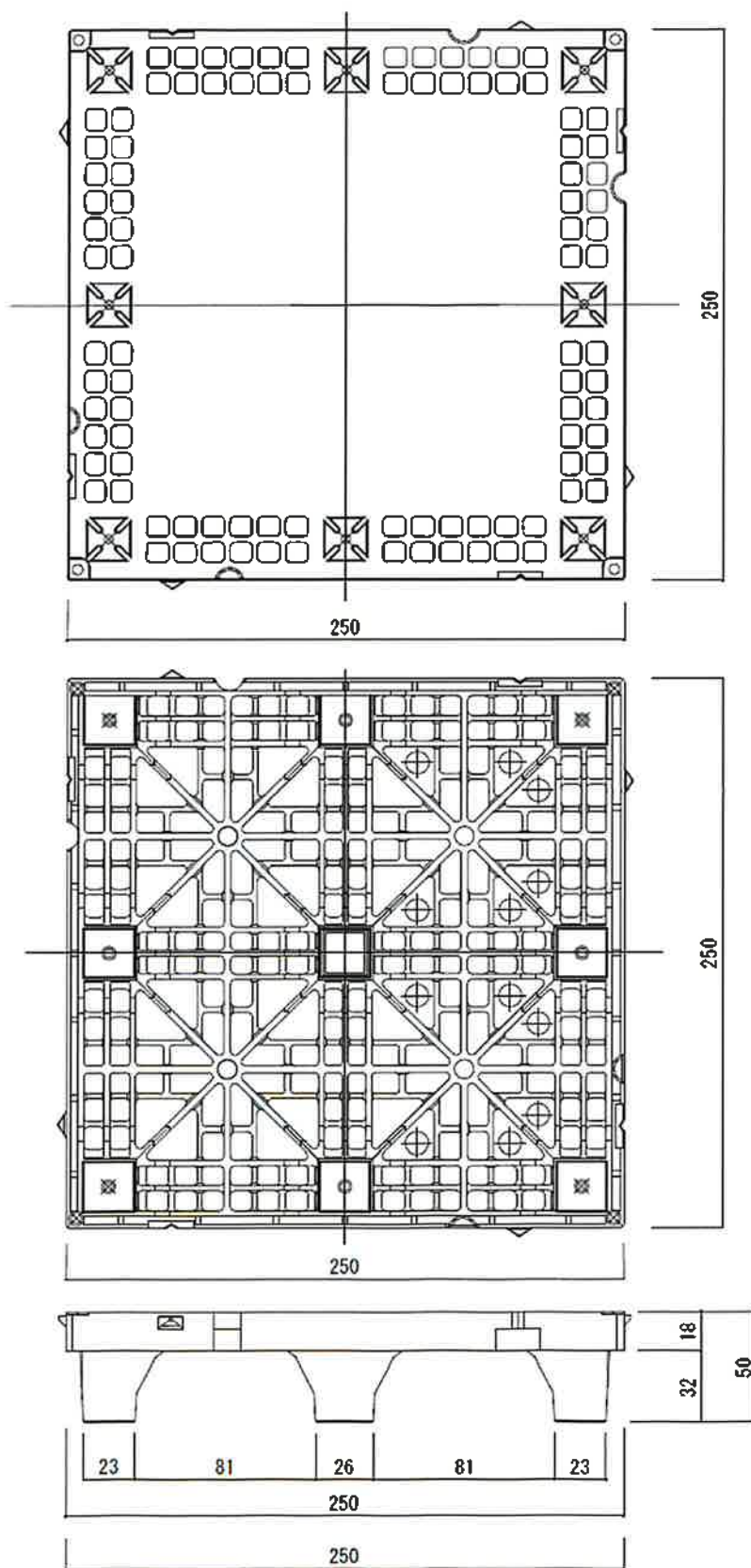
試験後の状況, 仕上材なし(試験体2)



試験に使用したクッションシートと木製の枠

以 上

4. 3. 試験体図 BF50R



以 上



発行番号：第19A2551号
発行日：2019年11月14日

品質性能試験報告書

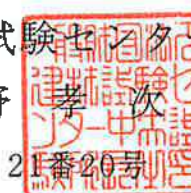
依頼者 ステップライン株式会社

東京都港区虎ノ門4-1-10 青木ビル6F

試験名称 フリーアクセスフロアのローリングロード試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

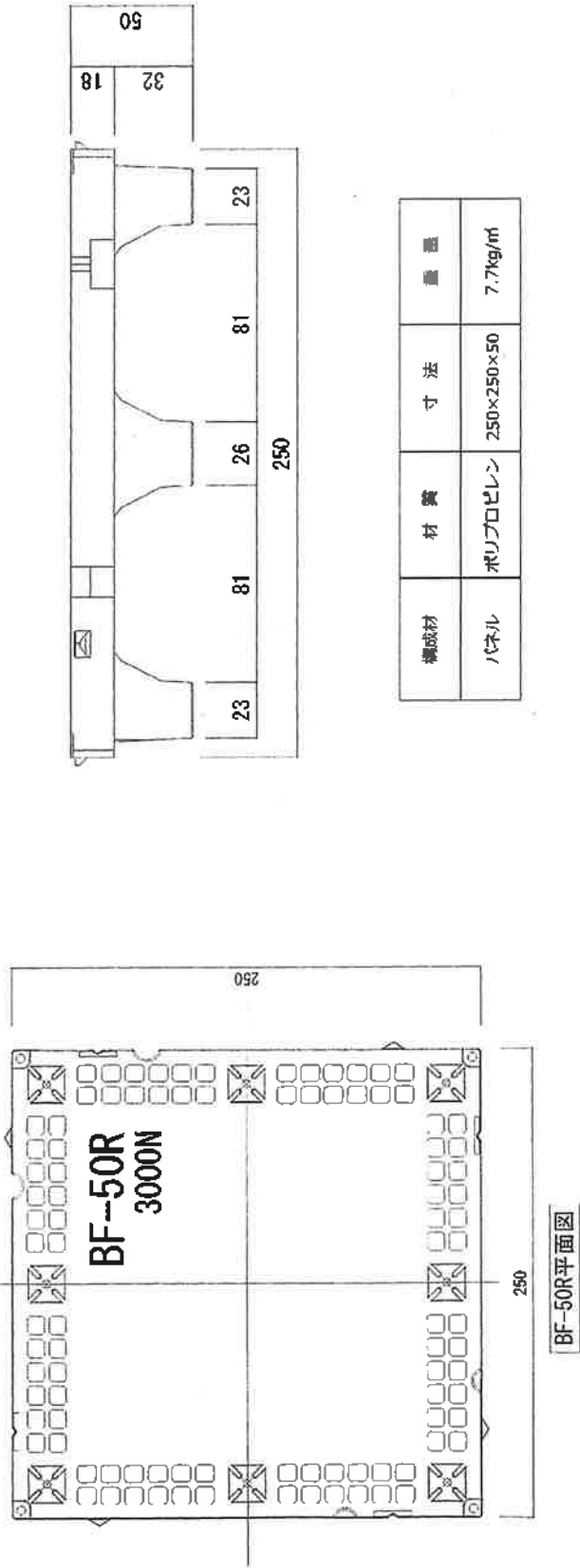
一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 真野 孝次
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



品質性能試験報告書

試験名称	フリーアクセスフロアのローリングロード試験			
依頼者	ステップライン株式会社			
試験項目	ローリングロード			
試験体	名 称 : フリーアクセスフロア 商 品 名 : BF-50R ユニットの高さ : 50.0mm (表面仕上げ材及びクッションシートを含まない) 材 質 : ポリプロピレン 開口の蓋 : なし 表面仕上げ材名 : タイルカーペット (厚さ 6.2mm) 形状・寸法 : 図1参照 数 量 : 1セット [9ユニット (3列)]			
	注) 依頼者提出資料による。			
試験方法	JIS A 1450 (フリーアクセスフロア試験方法) 6.4 ローリングロード試験に従って行った。 試験条件を以下に示す。 車輪の寸法及び硬度 : 直径 150mm, 幅 38mm, 硬さ 95HS 1車輪当たりの荷重 : 1000N 走行速度 : 10m/min~12m/min 走行回数 : 往復 5000回 測定位置及び走行位置 : 図2参照			
試験結果	測定ユニット	測定位置	変形量 ²⁾ (mm)	目視による損傷の有無
	9ユニットの中央	No.1	+0.7	—
		No.2	+0.6	
	全ユニット (9ユニット)	—	—	がたつき及び各部の損傷は認められなかった。
	注) 変形量の符号は, - が凸を表し, + が凹を表す。			
試験期間	2019年10月17日 ~ 18日			
担当者	材料グループ 統括リーダー 藤 巻 敏 之 主幹 渡 辺 一 (主担当)			
試験場所	中央試験所 (埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号)			

図1 試験体（依頼者提出資料）



単位：mm

単位：mm

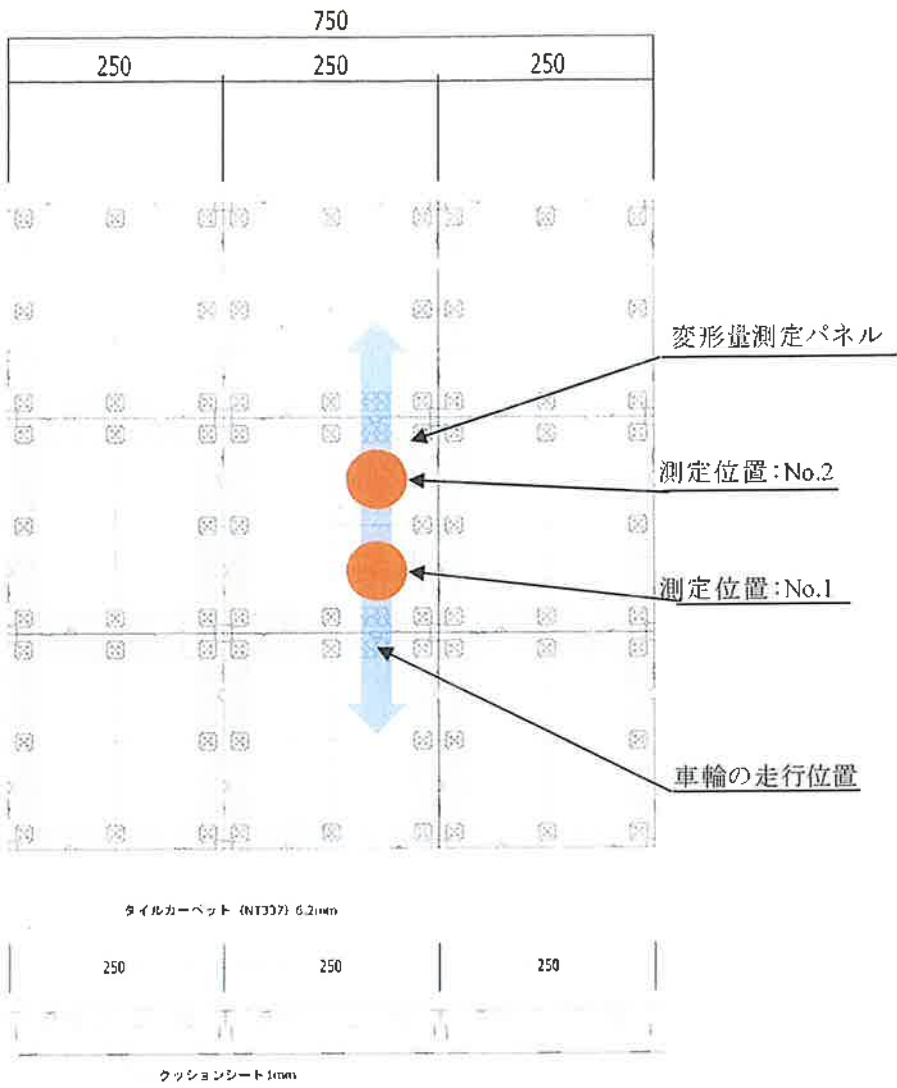


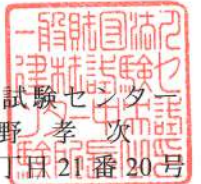
図2 測定位置及び走行位置 (依頼者提出資料)

以上

品質性能試験報告書

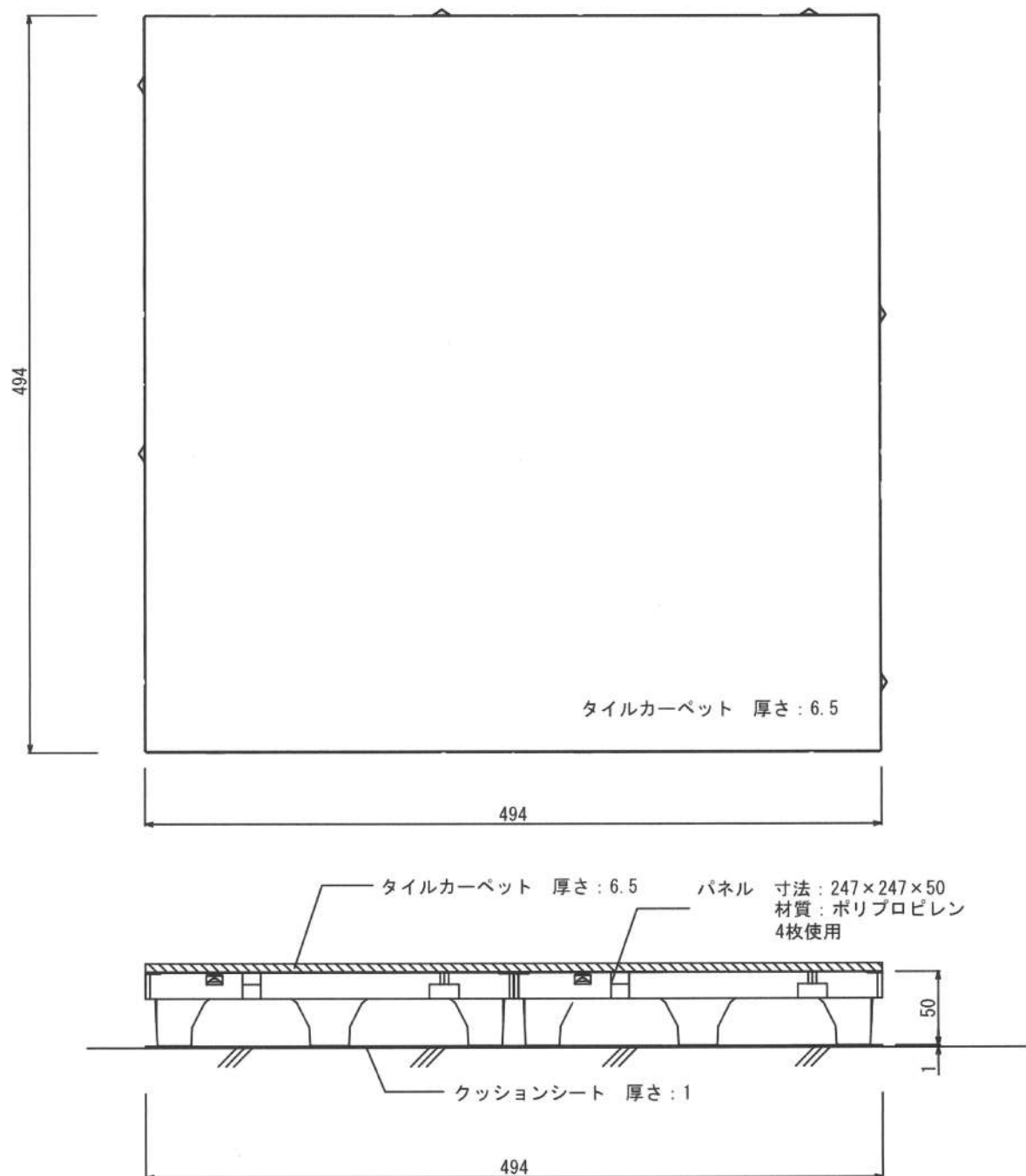


一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 真野 孝次
埼玉県草加市稲荷 5 丁目 21 番 20 号



試験名称	フリーアクセスフロア「BF50R」の帯電性試験		
依頼者	名称：ステップライン株式会社 所在地：東京都港区虎ノ門 4-1-10 青木ビル 6 階		
試験体 (依頼者提出資料)	種類	置敷式	
	ユニットの高さ	51 mm	
	構成材	パネル	247 mm×247 mm×50 mm (4 枚使用時：494 mm×494 mm×50 mm)
		シート	クッションシート 1.0 mm
	表面仕上げ材	タイルカーペット 厚さ 6.5 mm	
	数量	1 体	
	参 照：図 1～図 2（試験体）		
試験方法	JIS A 1450（フリーアクセスフロア試験方法）6.6帯電性試験に従って行った。		
試験結果	最大帯電電位 (V)	半減時間 (ms)	U 値
	-139	9999 以上	2.2
	-120	9999 以上	
	-115	9999 以上	
	(注) 試験は、外部に委託して行った。		
試験期間	2020年 6月 8日		
担当者	構造グループ 統括リーダー 上山 耕平 統括リーダー代理 林 崎 正 伸 主任 小山 博 由 菱 沼 匠（主担当）		
試験場所	試験委託先：一般財団法人 カケンテストセンター 東京営業所 (埼玉県川口市幸町 1-7-22)		

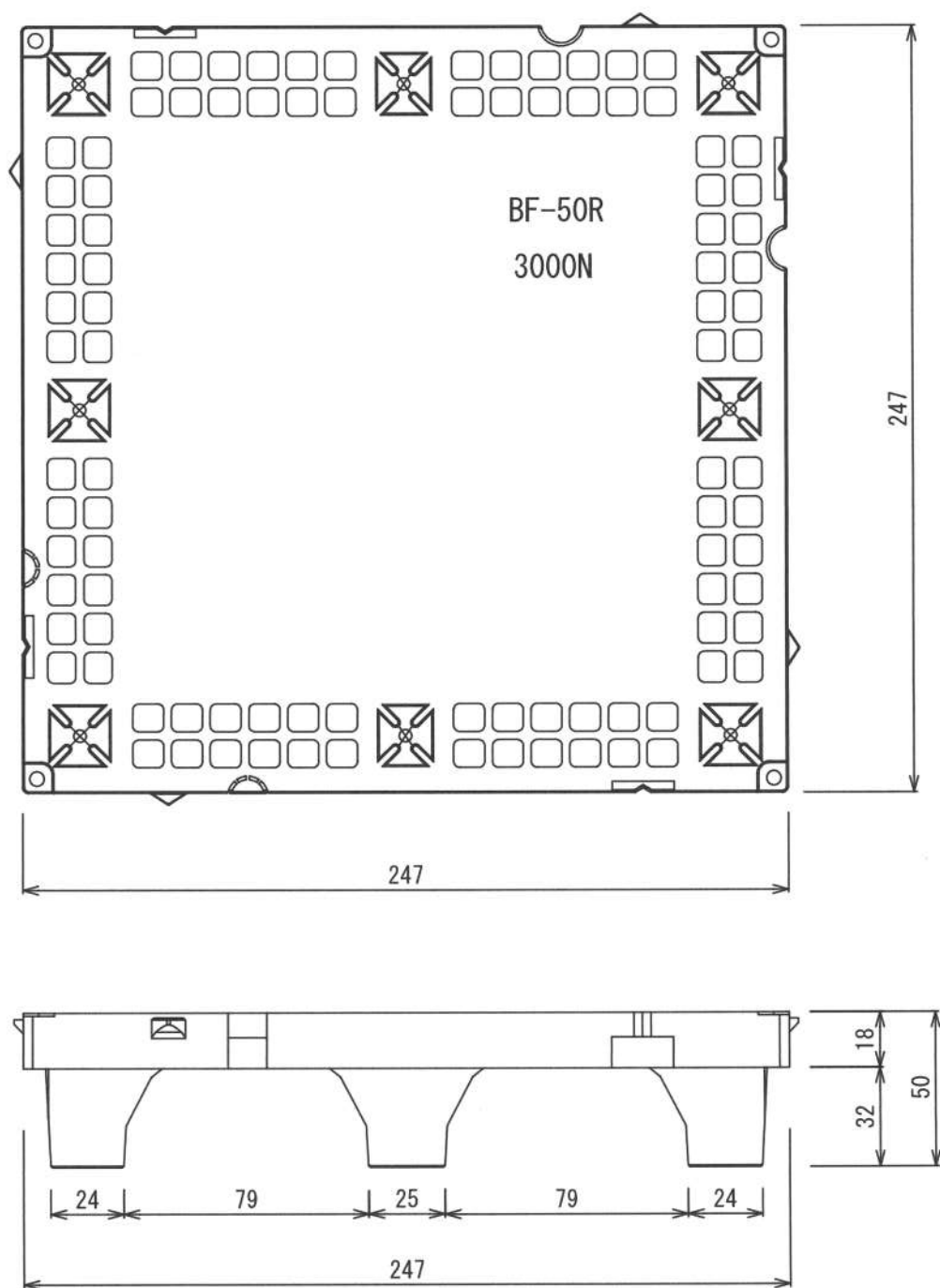
単位 mm



(依頼者提出資料)

図 1 試験体 (全体図)

単位 mm



(依頼者提出資料)

図 2 試験体 (パネル)

以上

品質性能試験報告書

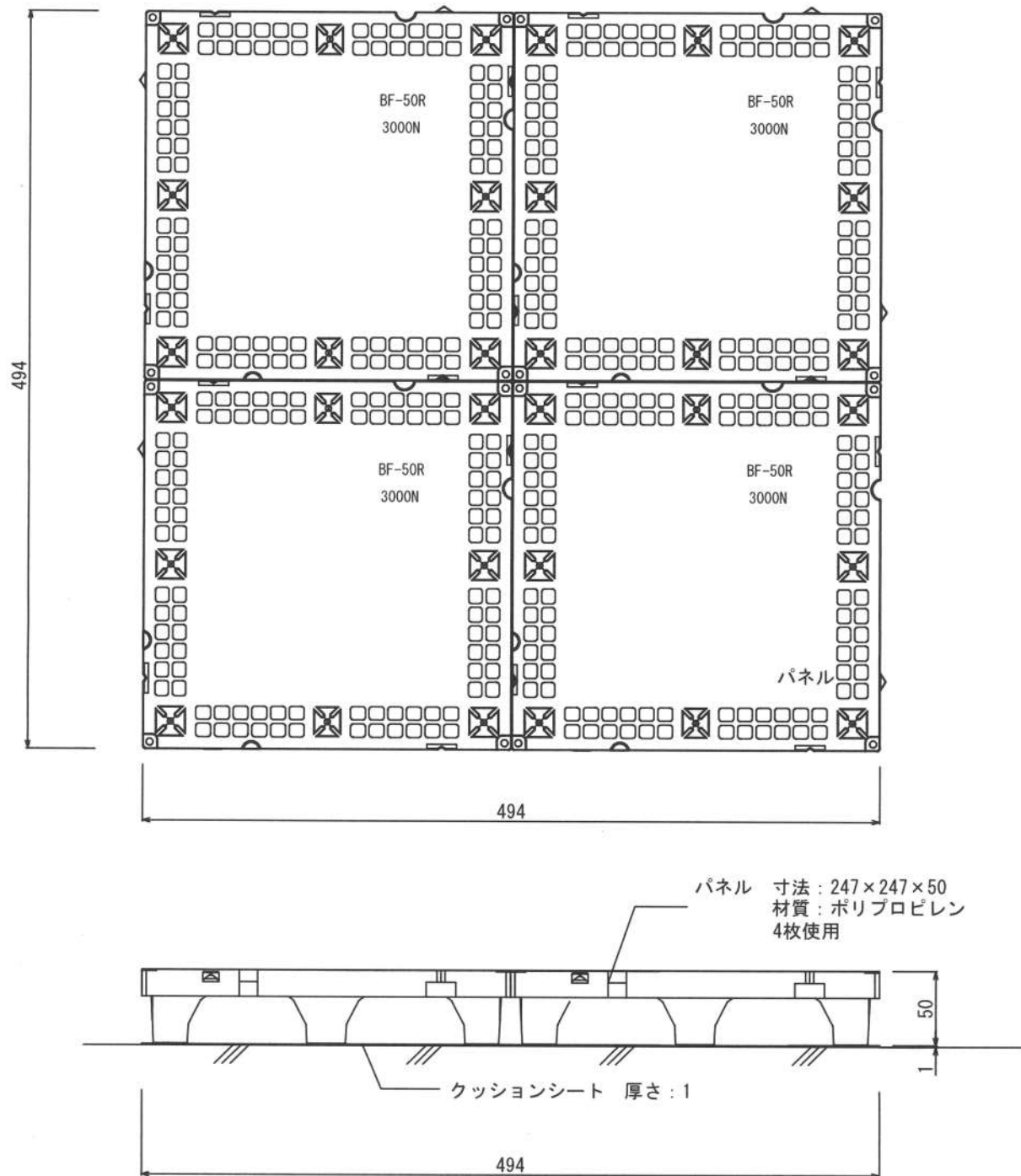


一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 真野 孝次
埼玉県草加市稲荷 5 丁目 21 番 20 号



試験名称	フリーアクセスフロア「BF50R」の漏えい抵抗試験		
依頼者	名称：ステップライン株式会社 所在地：東京都港区虎ノ門 4-1-10 青木ビル 6 階		
試験体 (依頼者 提出資料)	種類	置敷式	
	ユニットの高さ	51 mm	
	構成材	パネル	247 mm×247 mm×50 mm (4 枚使用時：494 mm×494 mm×50 mm)
		シート	クッションシート 1.0 mm
	数量	1 体	
	参 照：図 1～図 2（試験体）		
試験方法	JIS A 1450（フリーアクセスフロア試験方法）6.7漏えい抵抗試験に従って行った。		
試験結果	抵抗値（Ω）		
	5.6×10 ¹³		
	（注）試験は、外部に委託して行った。		
試験期間	2020年 6月 8日		
担当者	構造グループ	統括リーダー 統括リーダー代理 主任	上山 耕 平 林 崎 正 伸 小山 博 由 菱 沼 匠（主担当）
試験場所	試験委託先：一般財団法人 カケンテストセンター 東京営業所 (埼玉県川口市幸町 1-7-22)		

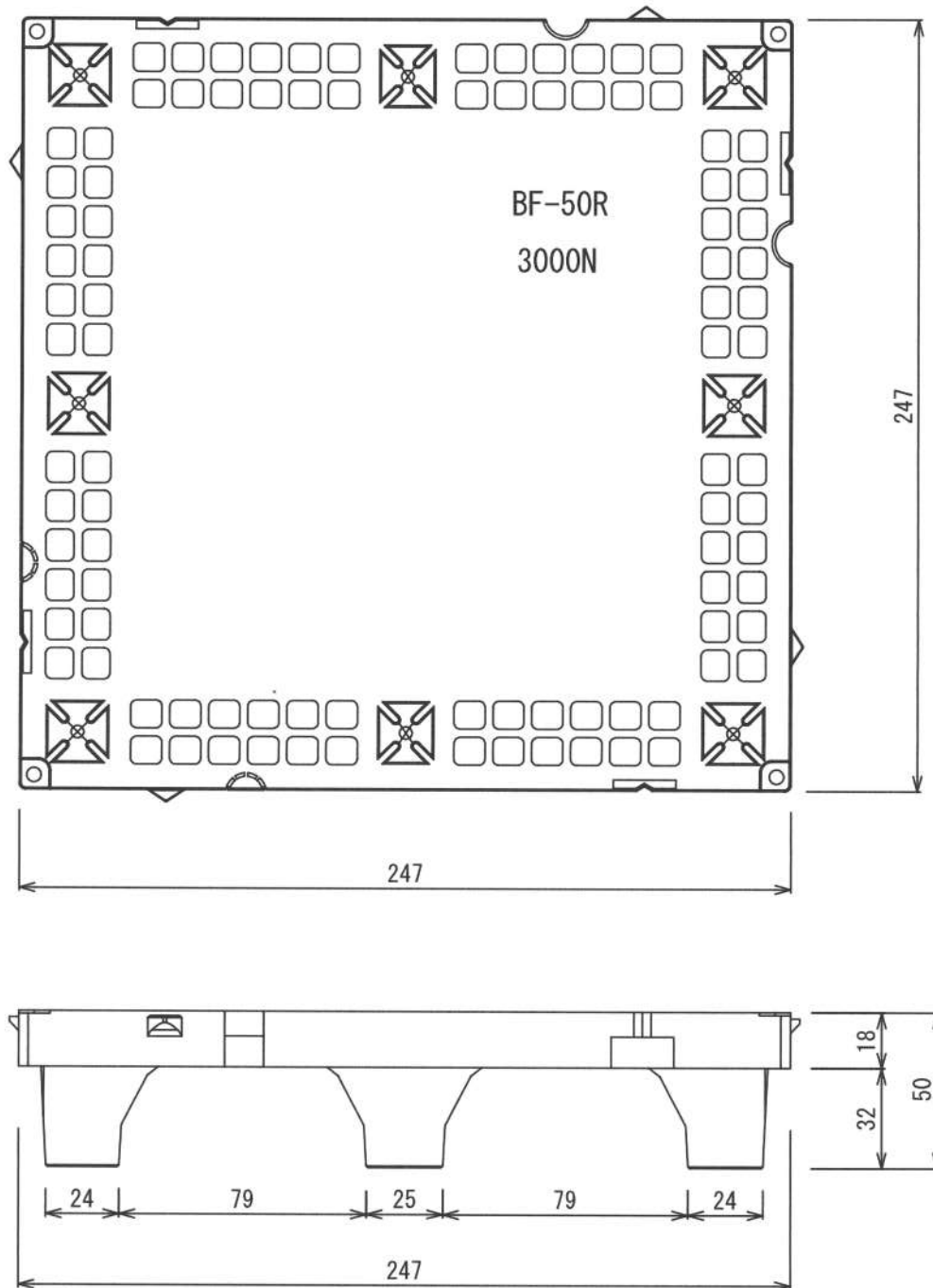
単位 mm



(依頼者提出資料)

図 1 試験体（全体図）

単位 mm



(依頼者提出資料)

図 2 試験体（パネル）

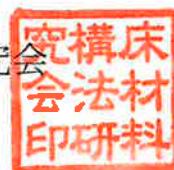
以上

ステップライン株式会社 殿

フリーアクセスフロアの 振動試験結果 報告書

令和2年11月11日

床材料構法研究会



代表 横山 裕



〒152-0035 東京都目黒区自由が丘 2-4-20
携帯：090-7273-4241

1. 試験項目

フリーアクセスフロアの振動試験

2. 試験日

令和2年10月27日

3. 試験方法

JIS A 1450 : 2015 の 6.8 に準拠

4. 試験体および試験条件他(添付図 1, 2 参照)

試験体 : BF50R

(置敷式 247mm×247mm×H50mm)

a) タイルカーペット上端までの高さ : 56.5mm

b) タイルカーペット

厚さ : 6.5mm(東リ製 GA-100)

ピールアップボンドで固定

c) アンダーシート : ポリエチレン製厚さ 1mm

試験条件 :

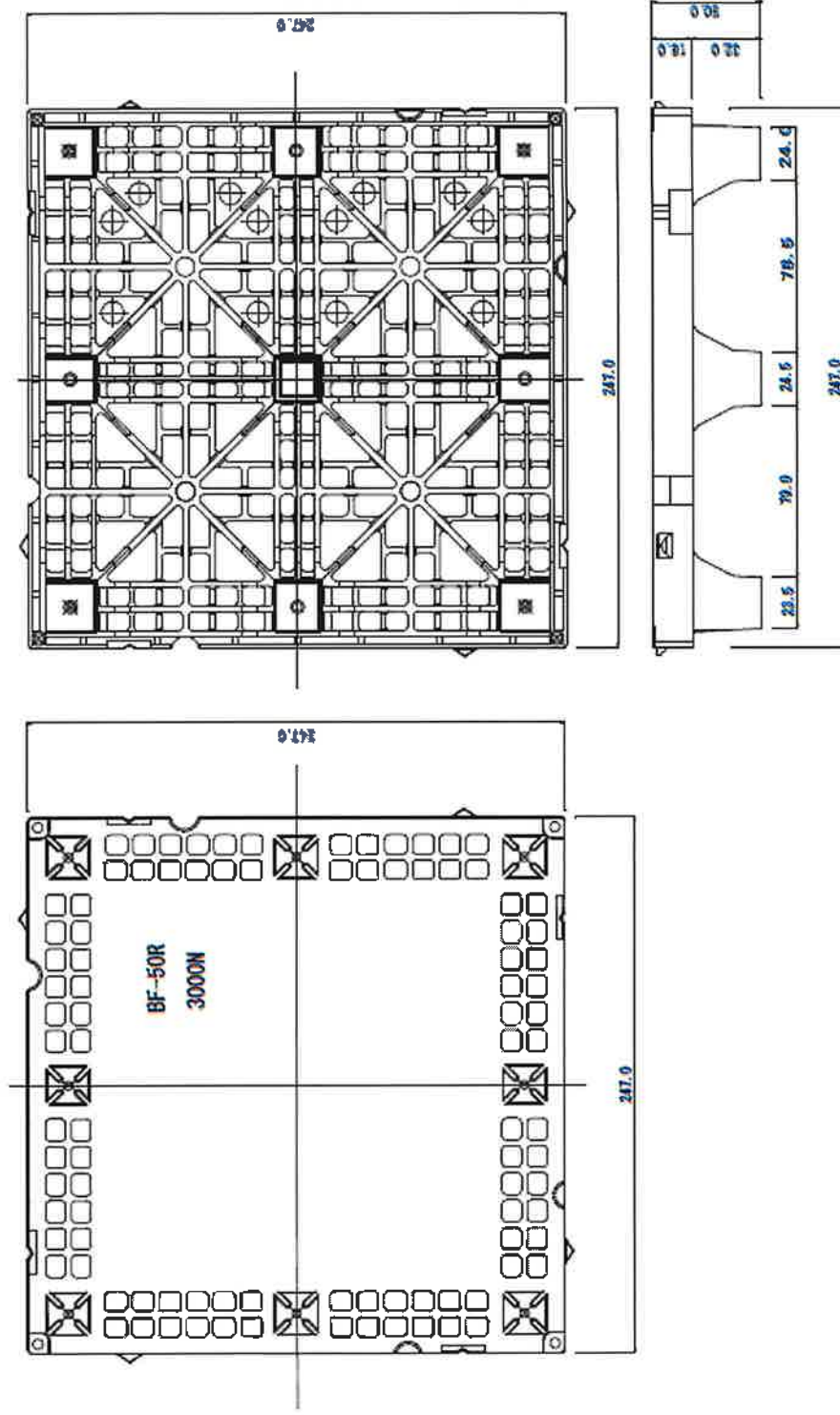
a) 所定のおもりの質量 : 350kg

b) 所定の加速度 : 1,000cm/s²(1G)

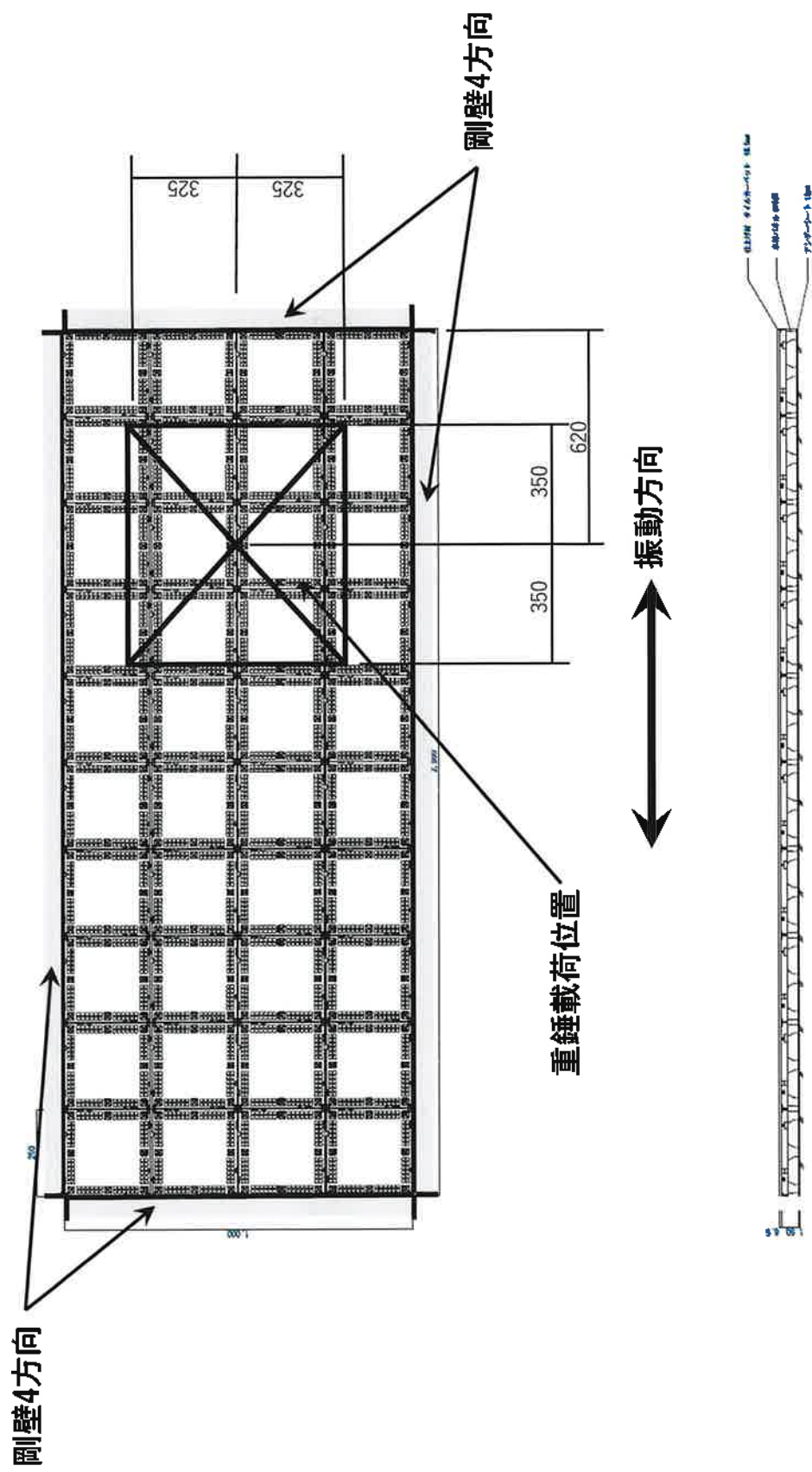
c) 剛壁 : 4 方向

5. 測定項目

- ・加振後のパネルの脱落，損傷，せり上がりおよび水平移動などを目視で観察
- ・加振後のパネルのへこみの有無を目視で観察し、ありの場合はへこみ量を直定規と隙間ゲージで測定



添付図1 試験体の概要



添付図2 試験体の設置状況

BF50R

(置敷式 247mm × 247mm × H50mm)

試験結果

- a)所定のおもりの質量：350kg
- b)所定の加速度：1,000cm/s²(1G)
- c)パネルの脱落，損傷，せり上がりおよび水平移動など(目視)：なし
パネルのへこみの有無，へこみ量：なし
- d)ユニットの高さ：50mm
- e)表面仕上げ材名及び固定方法：6.5mm 厚タイルカーペット
(東リ製 GA-100)，ピールアップボンドで固定
- f)試験体の設置状況：剛壁 4 方向
- g)ゴム付き調整脚の材質，硬度：エチレンプロピレンゴム，
硬さ 90HS
- h)その他所見：なし